

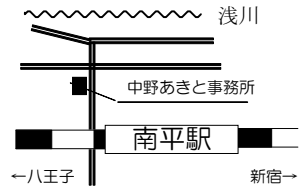


日本共産党市議会議員
中野あきと

みどりと清流



中野あきと事務所ニュース 発行責任者 小山敏正
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350)



生活相談など
お気軽に
お立ち寄り下さい
中野あきと事務所

<https://midoritoseiryu.skr.jp>

2025年7月参議院選挙 日野市の開票結果

投票率 61.06% (前回58.26%)
※小数点以下の数字は切り捨て

・比例区・※並びは届け出順

【政党名】	【得票数】	【得票率】
日本共産党	7,633	7.99
日本維新の会	5,317	5.56
日本保守党	2,993	3.13
立憲民主党	12,355	12.93
参政党	10,621	11.12
国民民主党	14,607	15.29
チームみらい	4,367	4.57
社会民主党	2,603	2.72
れいわ新選組	5,367	5.62
自由民主党	17,106	17.90
再生の道	1,600	1.67
公明党	6,197	6.49
NHK党	1,025	1.07

・東京選挙区・

【候補者】	【党派】	【得票数】
当 牛田まゆ	(国民)	9808
当 吉良よし子	(共産)	9753
当 鈴木大地	(自民)	9648
当 さや	(参政)	9195
当 塩村あやか	(立憲)	7438
当 川村ゆうだい	(公明)	7050
当 奥村よしひろ	(国民)	6077
おくむらまさよし	(立憲)	5738
たけみ敏三	(自民)	5459
おときた駿	(維新)	4446

◎7月号は選挙日程のため休刊としました
◎8月号は紙面の都合で＜連載＞「不正問題を2度と繰り返さないために」を休みます



参院選結果から、暮らし、差別・排外主義、 日本共産党のことまで

■日本共産党は4議席減 率直なご感想・ご意見を

東京選挙区での吉良よし子さんの勝利は本当に嬉しいことでしたが、日本共産党全体としては4議席減の結果となりました。ご支持やお力添えいただいたみなさんに感謝とともに、心よりお詫び申し上げます。

捲土重来を期す決意です。そのためにも党内外のみなさんからご意見を伺い、しっかり総括して今後のあらゆる活動に生かしていきたいと思っ



■差別・排外主義の台頭 心げたい取り組み

国籍、性別、世代、障害の有無による差別・分断を煽るような政治潮流が台頭しました。許せないという

率直なご意見をお寄せ下さい

ています。
ぜひ、電話やメール、対面で、率直なご意見をお聞かせください。

■自公が過半数割れに 国民の審判を踏まえて

今度の参院選でも自公を少数へと追い込み、衆参いずれも与党が少数という歴史的状況の下、野党の共通的政策になっている消費税の減税や企業団体献金の禁止の現実的展望が開かれています。

稲の花咲く

写真は稲の花です。稲は昆虫などの力を借りず、大量の花粉を風で飛ばし受粉します。
7月末、東豊田の田んぼで撮影しました。水不足が心配な夏です。



思い、不安な思いも寄せられています。
私は、歴史にも学びながら3つの視点と取り組みを大事にしたいと思っています。

(裏面につづく)

短信

「銀シャリ」という言葉をご存知だろうか。「白米めし」のことを言い、主に戦時下の食糧難時代に使われていた▼戦争が激しくなると米の配給が滞り、代わりに水団(すいとん)が奨励されるようになる。しかし肝心の小麦粉には雑穀が混じり、茹で上げても喉に引っかかるような食感が残った。色のついた塩水同然の醤油でつくる汁は、苦く塩辛いだけだった▼たまに米が配給されてもごく僅か。家畜の餌である豆かすでかさ増して炊く。げんなりするような匂いを我慢しながら口に運んだ。「銀シャリを腹一杯食べたい」当時、日本人の誰もが思った▼戦争が終わり中学に進学。背丈は伸びたが体は痩せ、吹き出物に悩まされた。キャッチボールをしてもすぐに疲れた▼日本は今、奇跡のように長い平和を維持している。だが何としたことか。戦争でもないのに米不足とは▼戦後押し寄せたアメリカの余剰小麦によって日本人の食が変化した。私も朝はパン食だ。ところが日本食が海外でも評判を呼び、空前のブームだとか▼ならば国民合意のもと農業をしっかりと支え、誇るべき日本米を、逆に輸出するようなことも考えるべきではないのか▼8月終戦の日。水団で当時を偲ぶ風習も遠い昭和の話となった。だが知っている。二度と戦争はダメの戦争世代の願い。育ち盛りを飢えて過ごした者たちの「銀シャリ」への思いも込められていることを。(K)

6月市議会でも明らかに

古賀新市政の特徴・問題点

古賀壮志新市長のもとで初めて開催された6月市議会。

一般質問などで、物価高騰対策など市長選で問われた争点、古賀市長が掲げた公約、市政が抱える重要課題などに関する新市長の基本姿勢や認識をたゞし論戦しました。その中で、以下3点にわたる特徴・問題点が明らかにになりました。

市議会議員 中野あきと

1. 公約である「賃上げを」の具体策なし

古賀市長が市長選で掲げていた「物価高に負けない賃上げを日野市から」の公約。党市議団の追及に市長は、「商工会による事業者の無料経営相談などを通じて経営強化・改善等をはかっていたことで実賃賃金の増につなげてまいります」とこれまでの取り組み

みをなぞるような答弁。市長として具体的な賃上げ施策など考えていないことが明らかにになりました。

2. 一方で、中断していた公共事業を再開へ

一方で、際立ったのが都市計画道路3・3・4号線の工事再開へ向けた古賀市長の「意気込み」です。「当初弾

いた金額(全市の残負担金は18・8億円)より多額の金額がかかることは間違いありません」(大坪当時市長・3月議会)としていた公共事業を、財政的検討も見通しを示さずに、「準備を進める」と表明したのです。

3. 「改憲」を肯定し期待待する姿勢を示す

平和・人権・地方自治などを規定している現憲法をどう捉えているのか、古賀市長の憲法観をたゞしたところ、市長は「まず国において活発で広範な議論をおこなっていただき、そのうえで国民に対して十分な説明がなされ、国民の中で議論が高まっていくことが重要であると認識しております」と答弁。「改憲」を肯定し期待する姿勢を露わにしました。



高幡不動駅周辺には商業施設や薬局や金融機関など、沢山のクールスポットがあります。

先日、暑いバス停で待つのを避け、冷房の効いた七生支所(駅ビル2階)で10分ほど過ごしひと息つけました。(K)

クールスポットとは

(日野市ホームページ)

公共施設のほか、コンビニエンスストア、スーパー、薬局などの供用スペースを利用して涼を取ることができる場所です。外出時の小休憩所として気軽に高齢者に利用していただくことで、熱中症による健康被害を防止することを目的としています。

目印として「クールスポットステッカー」(右下)が入り口付近に貼られています。5月～9月末頃まで。

熱中症の健康被害防止
ちよつと一休み
クールスポットの利用を



【無料法律相談日】2025年9月
(お申込み) ☎042-582-1042
わたなべ三枝・清水とし子事務所
■ 4日(木) 午後6時～8時
ちかざわ美樹事務所
■ 11日(木) 午後1時～3時
市役所6階共産党控室

(表面つづき) 差別・排外主義

心がけた3つの取り組み

一つには、差別・排外主義は間違っているというメッセージを発信し続けることです。

差別を受け、不安・恐怖を感じている方々を決して孤立させてはならないと思います。戦後40年の1985年の演説で、ドイツのワイツゼッカー大統領(当時)は次のように語りました。

「ヒトラーはいつも、偏見と敵意と憎悪とをかきたてつづけることに腐心しておりました。若い人たちにお願ひしたい。他の人びとに対する敵意や憎悪に駆り立てられることのないようにしていただきたい

い」と。

二つに、同時に差別的言動の背後にある感覚・感情への真摯な働きかけ・対話が必要だと感じます。

以前、障害者差別解消条例制定へ向けた調査や懇談を行なっているとき、当事者であり専門家・運動家でもある方からの次のような指摘を受けました。

「差別意識は、糾弾や処罰、規制によって解消されるものではない」「必要なのは、互いの存在の可視化と粘り強い対話、そして啓発であり教育である」と。

個人の尊厳を守りや多様性を尊重する日常的な取り組みが大事だと思います。



<2025年6月> 都議会議員選挙日野選挙区結果



▲再選した清水とし子さんを囲んで

この度の都議会議員選挙、市民と野党の共同の力で再び都議会に送り出して頂きました。心より感謝を申し上げます。自分たちの願いを実現するために「市民と野党の共同の議席、清水とし子」がどうしても必要なのだという皆さんの訴えは、多くの市民の心を動かしました。

7月23日から新しい任期がはじまりました。皆様の期待にこたえるために全力でがんばります。

都議会議員 清水とし子

当	候補者名	政党	得票数	得票率
当	寺前ももこ	都民フア	24,476	34.27
	清水とし子	日本共産党	15,340	21.48
	西野 正人	自民党	14,071	19.70
	池田としえ	無所属	9,635	13.49
	石田ゆたか	再生の道	7,880	11.03
※投票率 46.66% (前回 40.15%)				